

## 平成 31 年教育福祉委員会会議録

1. 招集年月日 平成 31 年 2 月 14 日
2. 招集の場所 可児市役所 5 階第 1 委員会室
3. 開 会 平成 31 年 2 月 14 日 午後 0 時 56 分 委員長宣告

### 4. 審査事項

#### 1. 新規事業、新規事項説明

- (1) 子育て支援政策経費について
- (2) キッズクラブ運営事業（土田キッズクラブ）について
- (3) 子育て支援拠点運営事業について
- (4) 全国山城サミット開催経費について

#### 2. 協議事項

- (1) 可児市・御嵩町中学校組合議会議員について

### 5. 出席委員（6名）

委員長	勝野 正規	副委員長	川合 敏己
委員	林 則夫	委員	富田 牧子
委員	山田 喜弘	委員	天羽 良明

### 6. 欠席委員（1名）

委員 田原理香

### 7. 説明のため出席した者の職氏名

こども健康部長	井上 さよ子	子育て支援課長	尾関 邦彦
こども課長	河地 直樹	教育委員会事務局長	村瀬 雅也
文化財課長	川合 俊		

### 8. 職務のため出席した者の職氏名

議会事務局長	田上 元一	議会事務局 議会総務課長	梅田 浩二
議会事務局 書記	服部 賢介	議会事務局 書記	山口 紀子

○委員長（勝野正規君） それでは、定刻前ではございますが、議員、執行部等が全員そろいましたので、ただいまから教育福祉委員会を開会いたします。

田原委員よりは欠席届が提出されていることを御報告申し上げます。

それでは議事に入ります。

発言される方は、委員の方も執行部の方も挙手をして、許可を得てからマイクのボタンを押して発言をお願いいたします。

なお、今回は定例会会期前の委員会ということで、平成31年度可児市予算の概要から、新規事業、新規事項4項目について、執行部から概要説明をしていただくこととしておりますので、よろしくお願いいたします。

初めに、1つ目として、子育て支援政策経費についてを議題といたします。

執行部の説明を求めます。

○子育て支援課長（尾関邦彦君） よろしくお願ひします。

そうしましたら、可児市予算の概要抜粋の9ページになりますけれども、大変申しわけございませんけれども、誤字がございましたので訂正をお願いしたいと思います。

一番上の子育て支援政策経費でございます。きょう御説明させていただきます星印、子供の生活状況についての実施調査となっておりますけれども、実態調査の間違いでございますので、申しわけございませんがよろしくお願いいたします。

それでは、この事業につきまして御説明をさせていただきたいと思ひます。

これにつきましては、今後の子育て支援に関する施策の基礎資料とするために実態調査を実施するものでございます。国のほうが補助制度を設けておりますので、調査の基本的な内容につきましては、国の指針に基づいて岐阜県のほうが作成しておりますフォーマットに沿う形で実施を行います。

対象となりますのは、小学校5年生の児童と中学校2年生の生徒、そして保護者としまして、今申しました小学校5年生児童と中学校2年生の生徒の保護者、そして、これに加えまして、小学校1年生の保護者の方を予定しております。対象者数としては4,500人ほどになると考えております。

岐阜県が例示しております内容としましては、子供の方には学校や勉強、友達について、そして食事や健康についてお尋ねしてございまして、保護者の方には仕事や収入、生活状況について、そして子供との関係性などについてお尋ねしてございまして。

予算としましては260万円の事業費を予定してございまして、そのうち国の補助金として2分の1の130万円の財源を予定しているところでございます。以上でございます。

○委員長（勝野正規君） ありがとうございます。

委員のほうから質疑ございましたら。

〔挙手する者なし〕

じゃあ、発言もないようでございますので、この件に関しては終了いたします。

次に2点目、キッズクラブ運営事業（土田小学校キッズクラブ）についてを議題といたします。

執行部の説明を求めます。

○こども課長（河地直樹君） よろしくお願ひいたします。

こども課のほうからは重点事業の新規事業についてです。

概要のほうで10ページになりますけれども、土田小キッズクラブについて実施設計を行いますということで記述をさせていただいております。

本日は実施設計に向けて、土田小学校の教室の現状とキッズクラブが必要になった理由について御説明をさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

A4の横の資料を1枚出させていただきましたので、それに基づいて説明をさせていただきます。表の一番上が児童数となっておりますけれども、こちらのほうが平成36年度までの土田地区の6歳以下の子供の数から教育委員会のヒアリングをもとにこども健康部で推計したものでございます。その下、小学校の使用可能教室数というふうでございますけれども、土田小学校のほうでは23というふうになっておりまして、ちょっと右へ行っただきますと、普通教室数と特別支援学級数というふうになっておりますけれども、平成30年度で申し上げますと、普通学級数が18、特別支援学級数が2ということで、現状20使用しているということです。

こちらの学級数については、先ほどの児童数から見て20から19で推移していくのではないかとこのふうに見込んでおります。特別支援学級の数ですけれども、平成31年度は3というふうになっておりますけれども、その後は2というふうに見込んでおりますけれども、こちらのほうは教室を利用する方が増加しておりますので、こちらのほうはふえていく可能性が高いかなというふうには認識しております。

それから、こちらの学級数以外に必要な教室がございまして、合計の下にございます少人数教室と国際教室使用教室というふうになります。こちらのほうは、先ほどの使用可能教室23から普通学級と特別支援学級で使用するものを差し引いた教室数ということで示してございます。下に米印で示させていただきましたけれども、こちらの少人数学級とか国際教室は変動するというので、少人数学級については一、二必要になるだろうということと、国際教室については二、三必要になると見込んでいるということでございます。

今のことをあわせますと、児童数の推移とか特別支援学級の今後の状況、それから少人数教室や国際教室の必要性から、学校で使用する教室の余裕がないという状況になっているというふうには認識しております。土田地区については社会増ですね、転入のほうも15歳以下を含む世代の転入が多いということで、先ほどの児童数の数字を出させていただきましたけれども、今後、増加する可能性のほうが高いのではないかとこのふうには考えております。

次に、下の段のキッズクラブについて説明させていただきます。

キッズクラブも、学校の児童数が増加していくとともに利用率も上昇していくと予想しておりますので、利用者もふえていくということと考えております。現在、土田小のキッズクラ

ブは、専用教室1教室で運営しております。平成31年度は83というふうで申し込みがございませけれども、これは定員を超えている状況で、何とか低学年も待機を出さないようにということで、何とか受け入れをしたいということで、臨時的に教室を1つ、学校さんのほうにお借りするように今協議をしている状況でございます。

キッズクラブの数年の人数を見ていただきますとわかりますように、どんどん利用者数がふえていくというふうに予測しております、平成36年には124という数字を見込んでおります。ここまでふえていきますと、今現在の専用教室にプラス教室が2教室必要だというふうに考えております。

先ほどの学校の状況を説明させていただいたとおり、学校も教室の余裕のない状況とキッズクラブの利用者が増加していくということで、キッズクラブの利用者増に対応していくために、キッズクラブの専用教室を確保していくということで、学校内に新たな専用教室を設置したいというふうに考えております。それに向けて平成31年度については実施設計を行いたいということで重点事業にも入れさせていただいております。

以上です。よろしくお願いいたします。

○委員長（勝野正規君） ありがとうございます。

委員の方は質疑ございましたら、どうぞ。

○委員（富田牧子君） つくっていただくということはいいと思うんですけど、今ある1教室というのはすごく使いづらそうな教室ですよ。私もボランティアに行ったことがあるんですけど、全部入っておるもんだから落ちつかない感じがして、そのときに、今あるところも、もうちょっと使い勝手がいいようにとか、区切るとか何かするとか、そんなことは考えていないんですか。

○こども課長（河地直樹君） 区切るということは今のところ考えていないんですけど、専用教室2教室ができれば分散できますので、今の1教室に目いっぱいの子供が入るということは解消されて、今の状況よりも改善はされるかなというふうに思っております。

○委員長（勝野正規君） ほか、よろしいでしょうか。

○副委員長（川合敏己君） なかなか数値をとるのが大変だと思うんですけども、この平成31年度の通年83という数値を出されているんですが、これというのはどうやって出しているんですか。

○こども課長（河地直樹君） 83というのは、平成31年度の4月からの入室を申し込まれた方の人数で、キッズクラブの平成31年度の申し込みは12月に低学年の申し込みを受け付けて、1月に高学年の受け付けを終えたところです。

今、申し込みを受けた段階で、低学年については入室許可を出させていただいておりますけれども、今、高学年の入室を受け付けて、要件を満たしているかどうか審査をしまして、これから要件を満たしていない方は入れない方も出てきますし、その教室の状況によって待機も出るかもしれませんが、できるだけ待機を出ないように臨時教室を今お借りするよう、学校と協議しているような状況です。

○副委員長（川合敏己君） 教育委員のほうに伺いましたら、土田小学校は昨年度と比べて1年生がまた19人くらい多くなるということで、この4月から19人、去年よりもふえるということ伺いました。いわゆる新たに入ってくる部分の数値というのは、ここには加算されていらっしゃるんですか。

○子ども課長（河地直樹君） 平成31年度は実績です。これはもう申し込みを受け付けていますので実績の数値になっていますけれども、平成32年度以降については、推計になりますけれども、新1年生の、今のゼロ歳から6歳の子供さんの人口はわかりますので、それに基づいて、1年生の方の毎年の利用率の上昇を見て、だんだん上昇してきますので、数もふえていくし、利用率も1年生はふえていくという数字をもって推計を出させていただいている状況です。

○委員長（勝野正規君） ほか、質疑よろしいでしょうか。

[挙手する者なし]

発言もないようですので、この件に関しては終了いたします。

次に3. 子育て支援拠点運営事業についてを議題といたします。

執行部の説明を求めます。

○子育て支援課長（尾関邦彦君） それでは、同じく10ページの一番下、子育て支援拠点運営事業でございます。

帷子、桜ヶ丘、兼山の各児童センター、児童館にて、新たに地域子育て拠点事業を実施するというものでございます。これは、子育て親子の交流や相談の場を提供しております地域子育て支援センターを現在市内の4つの保育園とまなも内の絆る〜むで実施をしておりますけれども、これに加えまして、帷子、桜ヶ丘児童センターと兼山児童館において実施をするものでございます。

児童センター、児童館では、これまでも同様の役割を担っておりまして、今回不足していた要件をクリアさせるということでセンター化を図るものでございます。クリアする要件としましては2つございまして、1つ目は、子育てに関する講習会等を毎月1回開催するというものでございます。これも実施しておりましたけれども、未実施の月がございましたので、これを毎月1回以上ということで実施することにしております。

もう一つが、これまで週2日であった相談体制を週3日とすることでございます。センター化する理由でございますが、これも2つございます。1つは今御説明しましたように、講習会や相談体制の強化によるサービスの向上、そしてもう一つは、国・県の補助金を得ることができるということでございます。これまでより業務が増加いたしますので、その分経費は増加いたしますけれども、補助金を得ることができることで、トータルで市の一般財源の支出を減らすことができるということを予定しております。

具体的には、予算事業が別になりますけれども、児童センターの指定管理業務から、これまで行っておりました先ほどの講習会、相談に関する事業を切り分けまして、その分の指定管理料を減らしまして、別途委託事業といたしまして、このセンターの運営に係る事業を指

定管理者に業務委託するものでございます。

予算金額的に見ますと、指定管理料を 222 万円引き下げまして、新たに地域子育て支援拠点事業として 315 万 7,000 円を業務委託するものでございます。差し引きしますと 93 万 7,000 円の増加となりますけれども、国・県の補助金 210 万 4,000 円が新たに得られることとなりますので、差し引き 116 万 7,000 円の節減を図ることができるということを予定しておるものでございます。以上でございます。

○委員長（勝野正規君） ありがとうございます。

この件につきまして、質疑ございませんか。

○委員（富田牧子君） 今おっしゃった金額ですね、これだけ節減になるとか。それは全体の金額、それともこの 3 館に対する金額ですか。ちょっとそこら辺がわからない。

○子育て支援課長（尾関邦彦君） この 3 館に対する金額でございます。

○委員（富田牧子君） それと、委託をしているのであれですが、結局のところは向こうにとっても業務がふえるわけで、そうした場合に人の手当てとか、そういうことはきちっとやっていただけるのでしょうか。

○子育て支援課長（尾関邦彦君） これにつきましては、管理者と協議を進めてまいりまして、対応ができるということで実施することになりました。以上でございます。

○委員長（勝野正規君） ほか、質疑よろしいでしょうか。

〔挙手する者なし〕

それでは、発言もないようでございますので、この件に関しましては終了といたします。ここで暫時休憩といたします。

休憩 午後 1 時 12 分

---

再開 午後 1 時 13 分

○委員長（勝野正規君） それでは会議を再開いたします。

協議事項 4 点目、全国山城サミット開催経費についてを議題といたします。

執行部の説明を求めます。

○教育委員会事務局長（村瀬雅也君） それでは、まず私のほうから、この趣旨について御説明させていただきます。

この全国山城サミットは、全国の山城が存在する市町村及び関係団体が情報交換等を通じて親睦と交流を深め、山城の保存方法や観光資源としての山城を生かした地域の活性化を図り、潤いのある豊かなまちづくりを進めていくことを目的としています。

可児市においても、可児市が取り組んでいる戦国城跡巡り事業、戦国山城は先人が残してくれた地域の重要な歴史遺産であることを認識し、整備やガイド活動を通して愛着を持ち、人々が交流することでその活動が広がっています。こうした可児の取り組みを一つのモデルケースとして、今後、全国へ、そして未来の次の世代へと発信していきたいと考えておるものでございます。

具体的な内容につきましては、資料をきょう上げておりますので、それに基づいて、課長のほうから説明をさせていただきます。

○文化財課長（川合 俊君） よろしく申し上げます。

来年度の新規事業であり、重点事業でもあります山城サミット開催経費につきまして、お手元の全国山城サミット開催についての資料に基づきまして、御説明させていただきます。

1番の山城サミットの概要につきましては、今、事務局長が話しましたので省略させていただきます。途中から説明させていただきます。山城サミットは全国規模のイベントでございますけれども、これは年に1回、全国山城サミット連絡協議会に加盟している自治体が開催するものでございます。平成30年度、今年度は第25回大会がございまして、これは、戦国時代に山陰地方を支配した尼子氏の居城がある月山富田城跡が所在する島根県安来市で行われました。

次に2番に移りまして、全国山城サミット連絡協議会について簡単に御説明させていただきます。加盟自治体は平成30年9月現在、102団体、159城でございます。可児市は平成27年に加盟いたしまして、登録している山城は美濃金山城跡、久々利城跡、今城跡の3つ、3城でございます。岐阜県内では、今年度に苗木城跡があります中津川市と岩村城跡があります恵那市が加盟されました。全国山城サミット連絡協議会の事務局は、天空の城で有名な竹田城があります兵庫県朝来市が固定的に務め、会長は、その年度の山城サミット開催市町村長が務めることとなります。なお、山城サミットの開催そのものの事務局は、会長が属する自治体となります。

最後になりますけれども、第26回全国山城サミット可児大会の概要案について御説明いたします。開催日時は平成31年11月9日、10日の2日間、会場は可児市文化創造センターa1aを中心に、美濃金山城跡、久々利城跡、今城跡周辺で開催を予定しております。主催は、可児市と一般財団法人自治総合センターとなります。一般財団法人自治総合センターは、助成金をいただく関係で、その条件として主催者に名前を上げることとなります。

次に内容です。加盟自治体関係者が対象となります全国山城サミット連絡協議会の総会、情報交換会を開催するほか、一般の方も対象とした山城現地見学会、講演会、パネルディスカッションなどを計画しております。講演会やパネルディスカッション等の具体的な内容につきましては、現在検討中の段階でございます。

また、イベントの最後にサミット宣言、次期開催地の引き継ぎ等を行います。このほか、全国の山城を紹介するブースの設置や山城にちなんだ飲食店やグッズ販売、可児市の特産品ブースなどを設置する予定でございます。

なお、今議会で審議いただく内容ではございますけれども、予算といたしましては800万円の事業で、そのうち特定財源として、自治総合センターシンポジウム助成金が300万円とイベントの参加料などとして18万円を予定しております。

文化財課からは以上でございます。

○委員長（勝野正規君） ありがとうございます。

この件につきまして、質疑ありましたら。

○委員（富田牧子君） この前、議会では高校生議会をやって、それで高校生にいろんなことを提案してもらったりとかをやって、この前の市長の話でも、ぜひこういうものに若い人を巻き込んでいきたいという、そういうことがありましたよね。具体的には、どういうところで若い人を巻き込んで、これを成功させていこうと思っているのか、ちょっとお聞かせ下さい。

○文化財課長（川合 俊君） それにつきましては、開催の計画の段階でありますとか、あとは実際の運営に当たりまして、実際に活動、動いていただきますというか、そういうふうな形で、何らかそういうふうな協力といいますか一緒に、むしろ協働的にやっていくような形を今検討中でございます。以上でございます。

○委員長（勝野正規君） ほかに質疑はございませんか。

○委員（林 則夫君） 課長、僕も安来市に行って現地を見てきたんですが、予算規模ですね、何か月山周辺の雑木の伐採に2億か3億かけたという話を聞いたんですけども、とてもそんなあれはできんと思うけれども、どれぐらいのことまでできるか、大体構想にあったら教えてほしい。

○文化財課長（川合 俊君） 安来市の月山富田城というのは、物すごく大規模な山城でございまして、美濃金山城もそうですけど、基本的に山城というのは、支障木を伐採して景観を確保するというのが一番のあれなんですけれども、本当に月山の山は大きくて、さっき言いましたように、中国地方のほとんど大半を支配したような大名の居城でございまして、もう規模が果てしなくでかいので、支障木伐採については何億かかるかもしれませんけれども、可児市の場合でも、支障木の伐採につきましては国庫補助金等をいただいておりますので、城の規模に応じた整備を行っていくということでございまして、ちょっと月山の支障木の伐採については比較ができないかというふうにも思っておりますけれども、その城の規模に応じた史跡整備をこれから当然やっていきますし、この前パブリックコメントがございましたけれども、例えば美濃金山城につきましては、整備基本計画を今つくっておりますので、それに基づきまして、補助金もいただきながら進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

○委員（林 則夫君） それから、いかようにも、全国から人に来てもらって見てもらうんだから、余りみみっちいものを見てほしくないという感じもあるわけよ。美濃金山城とか明智城、それから久々利城までぐらいだったら、これは見てもらうあれが多少あるかなと思うけど、今城あたりはね。

あれは、過去を振り返ってみると、可児市内に山城があるということを僕は承知しておったもんだから、風雪で溶けて流れてしまっただけで何にもわからんようになるといかんと思っただけで僕は石碑を設置したんですけども、そういうところへ全国から来てもらって、これが可児市の今城だなんてあれは、ちょっと僕はどうかなあと思うけど、どう考えておる、その辺は。

○文化財課長（川合 俊君） 今城につきましては、規模的には大変小さいんですけども、



城の技巧的には大変すばらしいような、本当に山城をコンパクトにしたような城でございますので、それが十分見応えがある城だと思っておりますし、今城につきましては、今、可児市で、さっき言いました美濃金山城とか久々利城で地元の環境整備といたしますか、そういうボランティアでやっただいていてはるんですけれども、それが本当に真っ先に始まったところでもありますので、そういう意味でいいますと、やはり私は今城は大事にしていきたいというふうには思っております。以上です。

○委員長（勝野正規君） そのほか御意見、質疑ございましたら。

〔挙手する者なし〕

では、発言もないようでございますので、この件に関しましては終了といたします。

ここで議事の都合により暫時休憩いたします。以降の議事は委員のみで協議しますので、執行部の方は退席いただいて結構です。どうもありがとうございました。

休憩 午後 1 時 23 分

---

再開 午後 1 時 24 分

○委員長（勝野正規君） それでは、会議を再開いたします。

協議事項 1 として、可児市・御嵩町中学校組合議会議員についてを議題といたします。

これにつきましては、私のほうから御説明申し上げます。

組合議員というのは、先例申し合わせで、正・副議長及び所管の教育福祉委員会の正・副委員長以外に、その所管の常任委員会から 1 人ということで、今、正・副議長と田原議員と私、副委員長でしたので私と、その所管から川合議員になっていただいております。ここで田原議員は今、欠席中ですけれども、メンバー的には何ら変わりません。このまま我々の任期中は行こうと思っておりますけれども、何か意見ございましたら、言っていただければよろしいかと思っております。

○副委員長（川合敏己君） このままのメンバーでいいのかなあと思っています。

田原議員のほうは、組合議会に関しては、辞任の届け出はたしかまだ出ていないんだと思うんですね。その辞任の届け出が出ていない以上は、委員としての資格が私はあると思っておりますので。以上でございます。

○委員長（勝野正規君） 今、かような御意見をいただきましたが、多分、組合議会は 3 月末に一応、第 1 回の定例会がございます。そのときは、当然欠席という扱いになりますけれども、それ以降であれば出席ということになってきますので、このままのメンバーでいくということで御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

ありがとうございます。

異議もございませんので、このままの状態のメンバー構成として可児市として臨みますのでよろしく願いいたします。

以上で本日の案件は全て終了しましたので、そのほか何かございましたらお願いいたしま

す。

○委員（林 則夫君） こういう議会をいつまでやっていくかということのを僕は答えられる人があったら答えてほしいと思うのと。それから、兼山町と合併するとき、僕は当初から言い続けてきたんだけど、やっぱり可児市の子供は可児市内の小・中学校に通わせるべきだということを僕は非常に強調してきたわけ。そのほかにも水道の問題とか、それから消防の問題とかいろいろあったけれども、水道の問題だけは片づいたけれども、消防の問題と共和中学とそこの小学校の問題だけは残っておるけれども、こうした議会を長年続けておるうちに、可児市の子供は通学させるような発言とかそういうような雰囲気があったのかなかったのかちょっと聞かせてほしいと思いますので、答えられる人があったら教えてください。

○委員長（勝野正規君） 今、事務局もさすがにお答えできませんよね。

〔「できません」の声あり〕

そういう御意見があったということは、再度、所管課のほうへ申し出ておきますけれども、ここで結論が出る問題じゃないかなと思っております。

○委員（林 則夫君） 今、教育委員会がおるときに聞けるとよかったけれど。どこかから伝えておいてください。そういうことも長年の懸案事項であるし、いいかげんに片づけんといかんと思っておりますので。

○委員長（勝野正規君） ありがとうございます。

そのほか、何か発言ございますでしょうか。

〔挙手する者なし〕

ないようでしたら、私のほうから、ちょっと一言お願いしたいんですけども。

当委員会としての年間スケジュールですけども、前のときにお配りしたんですけども、皆さんに口頭ではお伝えしましたけれども、民生委員との懇談というのは今のところ中止しております。民生委員の会長さんと私のほうと打ち合わせて、特段の現時点での大きな課題というのは見つからないということでなしといたしました。8月以降、民生委員の改選も12月にございますけれども、我々の改選が済んだ以降にまた計画しましょうということで終わっております。

それからもう一点、年間スキームの中にある学校2学期制について、これは教育委員との懇談を行うという、2学期制にして1年経過した後に教育委員さんとの懇談を行うという計画を持っております。今、試案としましては、年間スケジュールに沿った5月ぐらいを想定しておりますが、これにつきましては、総合計画にも教育委員との懇談の中で意見をいただいた部分を当委員会として上げていかなければならない部分もあろうかと思っておりますので、その点につきましては懇談は必要かと思っております、日程的には厳しいかと思っておりますけれども、5月の10連休前後、後かな、前かなということで計画をしていきますので、日程的について皆さんの御意見と、いや、必要ないんじゃないかという御意見あればそれも構いませんし、ぜひやりましょうという話ならお願いしたいと思っておりますので、まず日程の辺からお願ひしたいと思っております。

[挙手する者なし]

日程の前にやっぱり必要か不必要かが先か、そうですね。当初の年間計画どおりにやっ  
ていくということでしょうか。

○委員（富田牧子君） 日程の話があって10連休ということで、4月って多分、学校訪問を  
されるんじゃないですか、教育委員さんって。ほとんどいろんな学校じゃないかなと私は思  
うんですけど。

○委員長（勝野正規君） ちょっと私は把握しておりませんので、まだ。

○委員（富田牧子君） そうすると、かなり厳しい日程だになってちょっと思いますけど。

○議会事務局議会総務課長（梅田浩二君） 私が以前おりました当時の話でございますが、4  
月は、逆に言うと学校もまだ入れかわったばかりでばたばたしている関係で、5月末から  
6月ぐらいにかけて行ってみえたような記憶でございます。以上でございます。

○副委員長（川合敏己君） 多分、市長が教育委員さんからも総合計画に向けての意見聴取を  
されるんだと思うんですね。実際、議会からもその意見を述べてほしいということと言われて  
いましたので、そういった意味から考えると極力早く、もちろん教育委員さんの都合もあ  
ると思うんですけども、5月ではなくて、できるだけ前倒しをして意見のすり合わせと  
いうのをきちんと、教育委員さんがどういった考えで市長に提言をしていこうかというこ  
とを事前にやっぱり理解しておく、議会として把握しておく必要があると思うんです。その上  
で、議会としてどういったことが必要だというようなところを申し述べていく必要があると  
思いますので、私的には教育委員さんの都合がありますが、極力早くに、できれば4月中の  
中で、議会の都合も考えながら早くできるといいかなあというふうに考えております。

○委員長（勝野正規君） ありがとうございます。

今、教育委員さんの意見も聞きながら、4月中にやったほうがよろしいかという意見が出  
てきましたが、そのように調整させていただく運びでよろしいでしょうか。4月中を計画し  
て行ってよろしいでしょうか。

[「はい」の声あり]

ありがとうございます。

じゃあ、この件につきましては正・副委員長で調整させていただきますので、御理解いた  
だきますようよろしくお願いいたします。

そのほか発言ございましたらどうぞ。

[挙手する者なし]

それでは発言もないようでございますので、これにて教育福祉委員会を閉会いたします。  
どうもお疲れさまでございました。

閉会 午後1時33分

前記のとおり会議の次第を記載し、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

平成 31 年 2 月 14 日

可児市教育福祉委員会委員長